

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

No.28

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 <https://rid2650-pub.com/katsuyama/> Email:katsuyamarc@gmail.com
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3066回 例会 (2月4日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎



本日は心配しましたがそこそこの積雪で、皆さんのお顔を拝見できてうれしく思います。

さて、いよいよトランプ大統領が公約通りにカナダ、メキシコ、中国に通商関税を上げると発表しました。

関税は両刃の影響があるので、早くもメキシコは1か月の猶予が設けられました。トランプ氏の一言で世界の株価が乱高下して本当に振り回されています。

ところで、国内では八潮市の道路陥没事故が発生して、未だにトラックの運転手は救出できないし、下水道の復旧もできない状況です。

今回の事故は老朽化したインフラが招く事故の恐ろしさをまざまざと見せつけていると思います。

私たちが明日は我が身と考えるべきだと思います。

●幹事報告

幹事 久保 光子

○財団寄付へのご協力をお願いします。

◆到着物

○社協からこんにちは

●委員会報告

●国際奉仕委員会

織田 昌弘

再来週の例会でポーズマンサンライズRCの方がZOOMで例会参加されますので、皆さんご出席をお願いします。

●出席報告

多田 慶一郎

2月4日	欠席4名	80.95%
1月28日	欠席4名	80.95%

●ニコニコ報告

山内 政司

会員誕生	幅田浩司・山本泰司
伴侶誕生	辻利津子・上山弥一・幅田浩司
届出欠席	滝川博則・山本泰司



会員卓話

旅行好きになったきっかけ

幅田 浩二 会員



前回の卓話では、これまでに旅行した場所の紹介をさせていただきましたが、今回は私が旅行、とりわけ温泉を好きになったきっかけとも申しましょうか、そのことについてお話ししたいと思います。

私が勤める「越前信用金庫」では、コロナ前くらいまでは毎年、「財団法人日本電信電話ユーザー協会」が主催する電話対応コンクールに選手を出場させておりまして、この私も平成7年に選手として電話対応コンクールに出場しました。このコンクールは60年以上の歴史があるもので、課題に基づいた模擬応対者との電話

のやりとりを審査します。

私が選手として出場した頃は、ユーザ協会の支部ごとに予選があり、当時は大野・勝山地区大会というものがあり、ここで2位以上が北陸大会に進み、この大会の優勝者が全国大会に出場することができます。当時、支部ごとの大会出場者数は全国で1万人を超え、地方大会では約400人、全国大会では地方大会優勝者の40人程度が出場しました。

現在は、福井県の場合、嶺北・嶺南で予選、そして福井県大会優勝者が全国大会に出場します。

当金庫は、伝統として毎年選手を2名選び、前回出場者

本日 プログラム	会員卓話 滝川博則会員	2月25日 プログラム	会員卓話 笠松誠一会員	3月4日 プログラム	会員卓話 和田達也会員	3月11日 プログラム	ゲスト卓話 永田泰山氏
-------------	----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------------

が講師として指導しますが、講師でなくても、これまで選手だった職員が自主的に練習日に集まり、指導や助言を行います。

こうした努力もあり、全国大会出場や地方大会での上位入賞も続けることができました。

私は選手として多くの先輩方から夜遅くまで指導を受けたことに非常に感謝しましたし、そのお返しは、後輩に対してでしかできないと思い、その後20年ほど携わり、本当に多くの職員との間に絆が生まれたように思います。

応対コンクールに話を戻しますと、励みの一つには全国大会の開催場所にあります。毎年開催場所が変わり、私が選手の時はいは仙台でした。

私は東北へ行ったことが一度もなかったのに、北陸大会で優勝すれば仙台に行けるとするのは夢のような話で、北陸大会出場が決まったときは、かすかな期待をしておりました。実際、全国大会出場が決まり、仙台へいくことになりました。

大会の前日を含め、4日間を仙台で過ごし、グルメと観光地巡りを満喫しました。中でもカキの専門店で大粒のカキ料理、特に土手鍋は今でも記憶に残るくらい美味しかったです。そして、仙台と言えば牛タンです。夜に繁華街を歩いて牛タン料理の店で食べた牛タンも絶品でしたし、仙台市内を十分満喫することができました。

私が、温泉によく行くようになったのは、まだもう少し先になりますが、「電話応対」がもたらした「縁」が、温泉好きになっていったことに間違いはありません。

私の場合、この「電話応対」から始まった縁で人のつながりと、生涯楽しめる「温泉」と「旅行」に目覚めたような気がします。また、相手が見えないからこそ、耳を傾け、相手の話をよく聞き、相手が何を求めているのか、それに応えられるよう丁寧に分かり易く話を「工夫」というものを磨くことができたように思います。皆さんも、社員の方のコミュニケーション能力の向上やスキルアップの一環として、この電話応対コンクールにチャレンジさせてみてはいかがでしょうか。

続きまして、昨年私が旅行した先、そして、そこであったエピソードをいくつかお話ししたいと思います。

まずは、支店の慰安旅行で「長野」へ行った話です。

これまで、職員の希望を聞けば、大抵「東京へ行きたい。」と言われる。ショッピングに何時間も時間を割くことが出来る方でしたら、あっという間に時間は過ぎるでしょうが、そうでない者にとったら、とにかく観光地を探すことから始めます。

私は建造物が好きですから、東京に行ったときは芝・増上寺や上野の国立西洋美術館などを幹事に頼んでコースに入れてもらったり、はとバスツアー、夜はブロードウェイのミュージカルと、結局は私色に染まっています。これはとても悪い癖です。

今回の旅行も、誰も行動に移そうとしない、と勝手に長野をアピールし、ほぼほぼ、私のこれまで行った先をチョイスして幹事に働きかけ、私色に染めていきます。

北陸新幹線が福井まで延伸したおかげで、乗り継ぎなしで長野まで僅か1時間30分、あっという間です。

7人で行きましたが、善光寺さんへ行ったことのある者はたった2人。本堂の地下を巡り、極楽浄土への入り口を探すお戒壇巡りは、皆大変喜んでくれました。



善光寺さんの裏手にある公園はいつの間にか整備され、信濃美術館に隣接する「東山魁夷館」も建物が美しく、見学する方も非常に多かったです。

ただ、絵画の劣化を防ぐため、年に4回は入替を行うため、展示品は、前もってホームページで確認しておくよと思います。

そして、いよいよ昼食です。私が大好きなきのご鍋を堪能できる「やま茶屋」というお店、「きのご鴨鍋」と「信州しゃも鍋」は、相変わらず美味しく、皆が大変喜んでくれました。仕舞いには、鍋にうどんを入れ、そのまた後にはご飯を入れて雑炊で頂き、お腹がパンパンになりました。絶品のきのご鍋、善光寺さんへ行かれましたら、ぜひ堪能頂きたいと思います。



宿泊先は「野沢温泉」です。善光寺さんから車で約1時間、渋滞のない道を走り、相変わらずの細い路地をくぐり抜けて、「さかや」という旅館に到着。

ここも何度か宿泊している間違いのない旅館で、お風呂も良くて料理も美味しく、本当に寛ぐことができました。野沢温泉もまた、外国人がたくさん押し寄せておりまして、外湯めぐりをしている姿をよく見かけます。

お土産の温泉饅頭ですが、ここで注意点があります。とにかく売り切れる時間が早いです。朝はとにかく早めに散策がてらに外へでかけ、饅頭をゲットしてください。以前はこんなことはなかったように思います。

翌朝には栗で有名な小布施の「道の駅 小布施」へ行きましたが、途中高速に乗って小布施インターで下りればスムーズに行けると思ったのですが、ここはETC専用出入口で、レンタカーにはETCが付いていなかったため、結局次のインターまで乗って、下道から入る羽目になってしまい、ゆっくり買い物をすることが出来ませんでした。

季節的にぶどうのシーズンでしたので、どこのレジも凄い行列で、こういう場合は自家用車で来て、たくさんぶどうを買って帰るのが良いと思いました。その後は小布施の町なか散策をして、栗や栗のお菓子を買って帰りましたが、東京へ行くのとあまり変わらない、かなりの豪遊になってしまいました。

みんなが旅先で各々スマホで撮影した大量の画像をLINEで共有する、といったこれまでにない「つながり方」もまた良いもんだなあ、と感じました。

最近の職場環境は、コロナ渦を抜けて随分と様変わりしたような気がします。皆さんの職場ではどうでしょうか。

私共の職場はあちこちに点在しているため、殆ど接点がなく、顔も名前もよく分からない、話したこともない職員も多くなりました。

これは相手の方もそうだと思います。どこの職場にも、仕事以外での付き合いを敬遠するような社員も増えているようですが、これまでの「自分なりに正しいと思ってきたやり方」を押し付けるのではなく、相手に理解を求めながら徐々に馴染ませることが必要になってきているようです。

私の旅行プランもいつかは強要と取られかねないかも分かりませんが、せめてプライベートでは、私の「旅行プラン」はお任せで気楽に行ける、と思ってくれる仲間と楽しみたいと願っております。